

民報 藤島

2013年 7月 7日

第 904号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉦一（宝徳）
0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
（月200円程度）
6月 40人 45,500円
5月 40人 32,950円

「1分間片足立ちは50分歩行に相等」東栄公民館地域講座で大長医師が講演

東栄公民館主催の第1回地域学習講座が6月28日開かれ、「ロコモティブシンドロームの話」と題して庄内医療生協・協立三川診療所長の^{だいちようしゅう}大長省博医師が講演し36人が聴講しました。ロコモは、バランス

能力・歩行能力の低下などの状態で、階段を上るのに手摺、片脚立ちで靴下がはけない等7つのチェックがあります。大長医師の「1分間片足立ちは50分歩行に相当」という話を聞いて、参加者はロコトレに大きな関心を寄せました。

「舌鋒鋭く」「存在感を發揮」日本農業新聞紙議員が発言量トップ

6月29日付日本農業新聞は、日本共産党の紙智子参院議員が、農林水産委員会での発言量がトップとなったと報じました。同紙は7月に任期満了となる参院議員について、2007年7月29日から13年6月26日までに開かれた農水委（連合審査を除く）の議事録をもとに、各議員の発言の文字数を集計しました。その結果、紙氏は約

31・2万字でトップ。第2位の山田俊男氏（自民）の約27・5万字を4万字近く上回りました。同紙は、紙氏について「発言した回数は74回と群を抜く」と指摘し、発言内容は「TPP（環太平洋連携協定）や地元・北海道に関する課題だけでなく、幅広い分野での知識で存

な関所だったでしょう。露伴の「勸進帳と東坡居士と新宮」には、弁慶と義経のように臣が君を打つなどして危地を脱するのを東坡居士「蘇軾（そしよく）」が「事に倒行して逆流する者有り」と論じたとあります。蘇軾は一〇三六―一〇一年、義経は一五九―一八九年ですから、中国には義経が生まれる前から勸進帳があったことになりました。

注 倒行して逆流―倒行逆流（トウコウギャクシ・道理に逆らつてむりに物事を行なう）

如意の渡

（富山県高岡市）（2）
大沼 浩

在感を發揮した」としています。そのうえで「舌鋒（ぜっぽう）鋭く歴代の農相らに質問を浴びせる姿は、毎回の農水委を引き締める“名物”となつている」と評しました。

3年前も、紙智子議員は非改選でしたが、参考で断トツの発言量と掲載されました。



東栄公民館主催の第1回地域学習講座



協立三川診療所 大長省博医師



渡前小学校 田んぼの生きもの調査（7/2）井上克浩さんの有機ひとめぼれの昼食提供

日本農業新聞

口蹄疫、震災、TPP…重要課題多く

農政通ずらり

1位 紙氏（共産） 2位 山田氏（自民） 3上位に 女性議員

参院農水委発言ランキング

順位	議員名	所属	発言量
1位	紙智子	共産	31万2千
2位	山田俊男	自民	27万5千
3位	上野 洋	共産	15万7千
4位	山本 浩	共産	11万4千
5位	山本 浩	共産	9万8千
6位	山本 浩	共産	8万7千
7位	山本 浩	共産	8万5千
8位	山本 浩	共産	6万7千
9位	山本 浩	共産	5万5千
10位	山本 浩	共産	4万9千
11位	山本 浩	共産	4万3千
12位	山本 浩	共産	3万9千
13位	山本 浩	共産	3万9千

日本農業新聞 6月29日付

あなたの思いをカクサーン!

守るべきは「米国」より「国米」(国産米)だべ!

紙智子

庄内医療生協藤島支部 第21回総会開く 優秀賞に駅前班・新屋敷班・新町班



町班が誕生しました。健康チエックなど保健予防、他団体と協同し健康講和やグラウンドゴルフなどの軽スポーツの取り組み、班づくり・班会などが話合われました。終わって駅前班は班会を開きました。保険予防などの班会開催、個人組合員を班員に、ゴミ出しなど話し合い、支部運営委員に山口順子さんと小野寺紀久子さんを決めました。

庄内医療生協藤島支部の第21回総会が6月26日開かれ40人ほど参加しました。

成田忠一支部長、本間美佐医療生協事務局長が挨拶、優秀賞班表彰が行なわれ、石川秀夫さん（豊栄）を議長に、12年度支部活動の総括、13年度支部方針を審議し運営委員を選出しました。

支部現勢は、地域班446人、職場班300人、班に所属しない個人組合員1645人、合計2391人で人口に占める加入率は20%。12年度は西渡前班と新

「日本の良心」になってほしい。 韓国の著名映画監督 志位委員長『いま、日本共産党』 （韓国版）の書評寄せる

—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

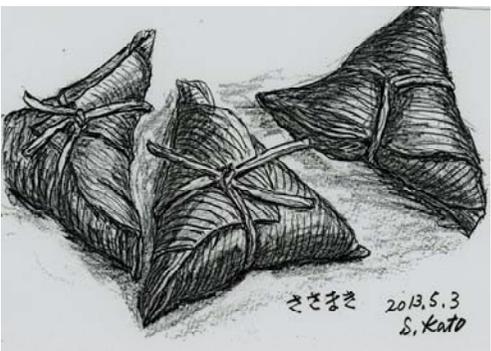
しんぶん赤旗6月21日号、同日曜版30日号である。映画監督とは



鄭胤澈（チョン・ユン Chol）さん、韓国映画監督組合共同副代表で韓国社会に大きな影響力をもっている。標題は「不義に立ち向かってたたく正義の侍 日本共産党」となっている。黒沢監督らの映画で日本の歴史や文化を知るだけで、大部分の韓国人のように現在の日

笹解いて庄内粽餡の色

工藤 博司



（画・加藤貞雄）

笹巻きの際が近づくと、今年の青笹を採りに山へ入るのが楽しかった。とりわけ子ども頃は、季節毎にめぐってくる諸行事は、必ずそのときどきの旬の食べものと結びついていただけに、至福の時間を味わうことが出来た。五月の節句には、父が頑丈な支柱に挟んだ高い杉の丸太に、真鯉・緋鯉・子鯉と三本の幟を揚げてくれる。私達男の三兄弟は、歳の順に自分の鯉幟を決めていて、それを仰ぎながら母のつくってくれた粽

を頬ばった。醤油味の生地は、豆や胡麻、くるみなどが入ったものもおいしかったが、やはりお目当ては、もち米だけの真白な粽にたっぷりきな粉をまぶしたものであった。後年になって、庄内特産の青笹の色を付着させた餡色の粽を、黒蜜入りのきな粉で食べることを知り、豊かな粽の世界はさらに広がった。

本の政治・経済・社会などはほとんど知らない。相手を知らずして仲良くなることも率直な批判を聞くこともできない。「こういう意味で（志位氏の本は）まさに干天の慈雨」であるという。

共産主義は、韓国では最も触れてはならない言葉である。ところがこの本を読んで、「その恐ろしい（？）名前とは異なり、日本社会の真の良心であり、希望であり、大きな祝福



迷惑な人

また日本にとって迷惑な人が出てきた。またというののはあの人がいたからだ。あの人とは橋の下と書く人。

▼大阪の市長だというが、歴史も知らないし人間の尊厳がわからない人だ。市長・知事の前は弁護士だそうだが、世界を敵に回しての演説にサスガ弁護士だから話はウマイが意味不明という批判があった。

▼そのうち自分にはナンノ責任も権限もない所にオスプレイの基地を置くことを防衛省に推薦した。これまた防衛省で苦笑いしているとの報道。こんなタダのメダチガリヤの件は取り上げないことにしているが、また出たからしようがない。

▼そのまたの方だが、月1500万円の小遣いを貰っていたことを知らなかった人が首相の時代、沖縄県民にウ

であることを悟ることになった。その例として、自国・日本の戦争に抵抗した唯一の政党であること、スターリン主義と毛沢東主義のような変質された社会主義に反対するなど良心的歴史をもち、総選挙で369万票を得て活発な政治活動をしていることなどをあげ、新鮮な衝撃を受けたという。標題にある侍は、農民のためにたたかった黒沢の映画「七人の侍」に由来する。

ソをついたのだ。その件でニツチもサツチも行かなくなり首相をやめた。それを反省したからでもないようだが、政界とヤカラは引退したものらしい。

▼そんな人が今度は国際的にモメている尖閣諸島の所有権について口を出したんだ。

▼その話が日本人として一般的、ソーカという話でないから迷惑な人なのだ。なぜこんな時に顔を出すんだ。知らないことをシャベルンだと言いたい。

▼シャベラセル方もそんな彼の性格を知っていてシャベラセたんだろうがどうです。私が選んだのではないという人は多いと思います。が、短期間であっても日本の首相だったんですヨ。ハズカシイ。

▼日本人として大迷惑だぜマツタク。引退したのならオトナシク引っ込んでいろツテンダ。しかし、今でも国の金で警護がついているだトヤ。（石川）